

東光寺小学校の校庭が芝生化されました！

今春までの東光寺小学校の校庭を覚えているでしょうか？と聞きたくなるような素晴らしい校庭に生まれ変わりました。校歌にもある「みどりの学び舎東光寺」として、子ども達が裸足で芝生を駆け回り、笑顔や元気な声が絶えない、なんとも喜ばしい光景が日常化しています。

この芝生は観賞用ではなく、子ども達が遊びや体育で使えるように芝生を植えていて、子ども達と一緒に愛情をもって接しています。

芝生化する効果としては、①児童の運動不足解消や体力の向上に役立つこと。②学習材としての活用。③維持管理作業等を通じての新たなコミュニティの形成。④温暖化対策としてのヒートアイランド現象の緩和などがあります。

なお、この事業は東京都の「10年後の東京」に基づく補助事業で、児童・保護者・地域住民の協働で芝生の維持管理を実施することで工事費の全額が対象になります。今後は、「みどりの学び舎応援隊」にご参加いただく皆さまにより、東光寺小学校の芝生を支えていきます。



実際に、東光寺小学校の芝生の維持管理をしてくださる「緑の学び舎応援隊」代表の天野さん（日野市栄町在住）にお話を伺いました。

『緑の学び舎応援隊は、新たに選ばれた者達が集まり、まるで幕末の新選組の気分です。東京都の「10年後の東京」の「元気な子どもたちを育てる校庭芝生化」事業では、東光寺小が日野市で一番目の施工となりました。プレッシャー等もありますが、専門家の力も借りながら、芝の雑草取り、肥料やり、水やり、そして、根で呼吸する芝のための芝面の穴あけ等、これから維持管理するために頑張っ保全していきます。応援隊だけでは無理なことが発生したときは、皆様の協力も必要かと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。』

（庶務課）

日野市学校教育基本構想

日野市はこれまで、平成10年11月に策定された日野市教育ビジョン「ひのっ子教育ー21基本と先進」のもと、子どもたちの健やかな成長を願ひ、学校教育の充実と改善に向けた取り組みを進めてきました。この間、子ども達や学校を取り巻く教育環境も大きく変わり、教育基本法をはじめとする関係法令が改正されたことから、日野市の学校教育の今後の方向性を明確にするため、学校教育基本構想を策定することとしました。

昨年10月から保護者、幼稚園長、学校長、社会教育委員、地区育成会代表、公募市民、市長部局職員、教育委員会事務局職員で構成する学校教育基本構想検討委員会を設置し、現状から課題の洗い出しを行い、課題の解決に向けた既定の施策や新規施策の方向性を整理し、体系化しています。

日野市の教育目標は、これまでの「ひのっ子教育21ー基本と先進」を引き継いで行く予定です。現在中間報告（案）を取りまとめています。この秋に、パブリック・コメントを実施し、広くご意見をいただき年内に完成の予定です。

（学校課）



第1回日野市学校教育基本構想検討委員会

ICT活用教育 推進の日野

日野市立中学校校長会会長

山口 俊浩



日野の「ここが好き」アンケートによると約4割の方が「豊かな自然」と回答しています。（多摩ら・びNo.48より）多摩川、浅川を中心に縦横に用水路が走り、湧水が流れ、多くの自然と恵みをもたらす「緑と清流のまち日野」に多くの方がその魅力にひかれています。このような豊かな自然は、ひのっ子に豊かな学びをたくさんもたらしています。

ひのっ子を取り巻く学習環境は自然の他にもたくさんあります。その代表的な一つにICTを活用した教育があげられます。その充実、今やひのっ子に多様な学習の場を保障しています。ICTを活用した教育の推進は、授業や校務を改善する大きな役割を担うようになってきました。また、特徴的なことは多くの学校でホームページの更新率が高く、内容が豊富なことです。是非、各学校のホームページをご覧いただきたいと思ひます。近い将来、日野の「ここが好き」に「学校のホームページ」と人気圧倒になるかもしれせん。

（教育部）

小学校の窓

小学校
の紹介

「ホームページも、開いてみてください」

前号(7月号中学の窓)に引き続き、今回「小学校の窓」を通して、日野市立小学校が目指す『特色ある学校づくり』の取り組みについて紹介してまいります。

日野市では、ICTを活用した教育を推進して参りました。この紙面に掲載する学校紹介は、各校の詳細を紹介する「ホームページや学校便り」の入り口です。

各学校のホームページには、更に豊かな内容が掲載されています。紙面をお読みいただき、ぜひ、ホームページを開いてご覧ください。

日野第一小学校



「日野市のふるさと 日野一小」

「学校・保護者・

地域・同窓会との強

固な連携」「教職員の強い一体感」「地域は家族」「地域は先生」「ふるさと日野」「郷土を愛する心」をキーワードに地域と一緒に教育活動を推進する学校が、日野第一小学校です。

日野第一小学校は、日野市のふるさとです。



用水路の活用

校長 小杉 博司

<http://www.e-hino1.hino-ky.ed.jp>

日野第二小学校



「輝く言葉、温かい心、豊田の学び舎」

「自分の考えをもち、伝え合う児童の育成」が今年度の本校の研究主題です。

授業中、「私は○○だと思います。そのわけは、ここにこう書いてあるからです。」という発言に感心しました。

表現を理解し、考え、判断し、伝える力を育てることが願いです。言葉を介して、友達のよさや、自分と異なる考えにも気付かせたいと思います。



ICTを会話で活かす

校長 中村 康成

<http://www.e-hino2.hino-ky.ed.jp>

日野第三小学校



「朝の読書タイム」

本校では、週三日、朝の読書タイムを始めた。穏やかな表情で本の世界に浸る子ども達。保護者による「読み聞かせボランティア」もスタート。出勤前にかけてくださるお父さん。あれこれと本を探して読んでくださるお母さん。子ども達は瞳を輝かせて聞き入っています。読書は心の糧であり、学びの基盤であることを実感します。



保護者による読み聞かせ

校長 京極 澄子

<http://www.e-hino3.hino-ky.ed.jp>

日野第四小学校



「自然の豊かさを実感できる理科教育」

本校には地下100メートルの井戸があります。この井戸水をトイレや池に活用しています。19年度から、この井戸を田んぼや水路の造成に利用しています。この井戸から引いている池に、アオサギなどの水鳥も飛来しました。多摩川を生かし、校庭の自然を豊かにして子供たちの自然体験の充実を図る理科教育を実施しています。



池にいる青さぎ

校長 太田 由紀夫

<http://www.e-hino4.hino-ky.ed.jp>

日野第五小学校



「地域の風がいきかう学校」

朝は、地域の「悠悠クラブ」の方々の「おはようございます」というあいさつからさわやかにスタートしています。

保護者の方による読み聞かせもさかんです。その他に、1年生の下校のためのサポートや飼育委員会のお手伝いなど本校ではボランティア活動を教育活動の中に取り入れています。「地域の風がいきかう学校」をめざしています。



本の読み聞かせ

校長 原田 由美子

<http://www.e-hino5.hino-ky.ed.jp>

日野第六小学校



「健やかな心と体をはぐくむ指導法の工夫」
～食育を通して～

六小の今年度の校内研究のテーマは食育です。全校で生活科や総合的な学習の時間を中心に研究をしています。毎日、美味しい給食を作ってくれる給食室、また校庭には、卒業生や地域の方々が残してくれた豊かな自然や果樹が沢山あります。環境を生かし、子ども達のために研究を深めているところです。



梅の匂いを嗅いでみる

校長 佐藤 清隆

<http://www.e-hino6.hino-ky.ed.jp>

潤徳小学校



「楽しい理科授業づくり」

本校は、今年度、子ども達が「ふしぎ!楽しい!」と感じる理科の授業づくりに取り組んでいます。周辺の豊かな自然環境を利用するとともに、観察や実験を通して理科の学力で大事な「考える力」を育てています。ICTの効果的な活用も本校の得意分野です。



理科授業

校長 宮崎 芳子

<http://www.e-juntoku.hino-ky.ed.jp>

平山小学校



「見える学校 コミュニティ・スクール平山」

平成20年4月に新校舎へ移転し、同6月7日(土)に落成式を挙行了しました。

新校舎への期待を受け止め、「見える学校」「子供に生きる力を育む学校」「地域と共に歩む学校」を目指し、「コミュニティ・スクール」として、地域に根ざした教育活動の展開に向け、さらに充実して参ります。

5月には、早速、地域指導者による授業支援をいただき、子どもたちに学びを深める授業を公開いたしました。



平山地区に出土する縄文土器について地域指導者と共に学習しました。

校長 古宮 キヨ子

<http://www.e-hirayama.hino-ky.ed.jp>

日野第八小学校



「学校のよさを生かして」

都内でも有数の大規模校です。

程久保川や浅川の自然を生かして、課題解決学習に取り組んでいます。地域の農家の方の指導を受け、とうもろこしのかわむきに挑戦しています。たくさんの子どもたちが一緒に学ぶよさを生かして、学校のよさを理解し、地域を愛する子どもを育てています。

校長 上條 茂



とうもろこしの皮むき

<http://www.e-hino8.hino-ky.ed.jp>

滝合小学校



「英語活動を全学年で始めました」

小学校では、平成23年度より新しく外国語活動(英語活動)という指導が加わります。これに先立ち、本年度本校が外国語活動の拠点校として文部科学省より指定を受け、毎週ALTの先生を交えて担任の先生が悪戦苦闘しながらも英語活動の授業をはじめました。年度末の2月12日には、小学校の英語活動の指導計画をまとめ、授業を公開しますので、是非ご覧ください。

校長 佐藤 周一



英語活動

<http://www.e-takiai.hino-ky.ed.jp>

日野第七小学校



「子どもが活躍する学校」

◎児童会・代表委員会の活動

- ・エコ活動：子どもが出来るエコ活動の紹介や毎週金曜日の清掃時間に紙のリサイクル活動を実施しています。
- ・学校内外や中央公園の清掃活動をしています。
- ◎たて割り班活動
- ・毎週木曜日にたて割り班での清掃活動をしています。
- ・たて割り班で全校遠足を実施しています。
- ・たて割り班遊び集会で交流を深めています。

校長 島崎 忠志



中央公園の清掃

<http://www.e-hino7.hino-ky.ed.jp>

南平小学校



「後姿で教える」

子どもは親や教師の後姿を見て育ちます。

言葉による直接の指導を重視しながら今年度は、教師自ら率先する教育活動を実践しています。全教職員の取り組み目標は、「教職員の方から挨拶する」「朝会・集会には教職員が早く出る」「床に落ちているものはすぐ拾う」「授業中は敬称をつけて児童の名前を呼ぶ」などです。

校長 照屋 守久



19年度卒業生壁絵

<http://www.e-minamidaira.hino-ky.ed.jp>

旭が丘小学校



「理科委員会の活躍」

昨年度から、野鳥や植物の保護と併せ、新聞発行により雑木林の四季折々の姿を紹介するようになりました。野鳥や昆虫の様子、その生態、草や木の実を使った遊びは、まるで雑木林百科事典。この取り組みにより、2月に毎日新聞社より、学校新聞の部奨励賞を、また6月には朝日小学生新聞のコンクールでも入選しました。

校長 中島 和夫



理科委員会活動

<http://www.e-asahigaoka.hino-ky.ed.jp>

東光寺小学校



「みどりの学び舎東光寺」

東京都と日野市の尽力で、校庭を芝生にしました。校歌にあるように文字通り、東光寺小学校は、「みどりの学び舎」になりました。

9月6日芝生開きには、市長はじめ多くの来賓の方々に祝っていただきました。子どもたちも東京ベルデイのラモス選手とサッカーを楽しみました。

校長 垣内 成剛



みどりの芝生の校庭

<http://www.e-tokoji.hino-ky.ed.jp>

仲田小学校



「花と緑と子どもたち」

本校は、多摩川と緑の仲田の森に囲まれ、学校内にも、広い畑と花壇があります。

この環境を生かし花と緑のサポーターの協力の下、理科や生活科、総合学習で、米作り等体験学習に力を入れています。入学式を飾る菜の花はその象徴です。年2回読書週間を設ける等、図書活動も盛んです。先生方の「お薦めの本」冊子は20回を数えました。また縦割り活動、30分昼休み等で豊かな人間関係作りにも力を入れています。

校長 柳元 太郎



菜の花畑

<http://www.e-nakada.hino-ky.ed.jp>

夢が丘小学校



「子どもと作る開校記念日集会」

6月22日は夢が丘小学校開校記念日です。学校の歩みを知り、自分たちの学校を大切にする気持ちを育む機会にと集会を持ちました。開校時にエピソードを紹介したあと、集会委員会の子たちが「なるほど夢小」という三択問題のクイズをやり、全校が盛り上がり楽しいひとときになりました。

校長 矢野 優



開校記念日

<http://www.e-yumegaoka.hino-ky.ed.jp>

七生緑小学校



「かわりを大切にした学校」

七生緑小学校の子どもたちは、地域の豊かな自然と温かい人々に囲まれて育っています。

教職員や友達とのかかわりを基本にして、地域の自然や人、社会とのかかわりの中で一人ひとりが輝き笑顔と歓声があふれる学校づくりを目指しています。

校長 佐島 規



七生特別支援学校との交流

<http://www.e-nanaomidori.hino-ky.ed.jp>

ひのっ子ががんばっています

「全国けん玉道選手権」大会
準優勝

5月25日東京・晴海で行われた「全日本けん玉道選手権大会」で、田嶋君は準優勝を勝ち取りました。試合の時の作文を紹介します。

平山中学校3年 田嶋 朗



試合中は
ずっと手の
震えが止ま
りませんで
した。今年
で3度目の
全日本選手
権出場でし

たが、試合会場に立つと緊張感で体が動きませんでした。それでもけん玉道場のメンバーをはじめ、多くの方が支えてくださったおかげで、良い成績をおさめられたのだと思います。

大会が終わったあと、他の選手達とたくさん話をしました。そして再戦を誓いました。

今回の悔しさを胸に、来年こそ優勝をしたいと思います。

けん玉のプロ！

七生緑小学校6年 野崎 貴文

6月29日に行われた「少年少女けん玉道選手権大会」において、関東ブロックの予選を勝ち抜き、大会ベスト8に進出しました。



関東OPEN輪車競技
グループ演技部門
小学生の部で準優勝

六小の体育館を使って、夕方

主役は江戸時代のひのっ子「ほどくぼ小僧」
日野市郷土資料館 特別展の開催

週3〜4回ほど練習している「かわせみ一輪車クラブ」は、さわやか2007関東OPEN一輪車競技大会(2007・12・9川崎市体育館)でグループ演技部門小学生の部にて準優勝しました。

本年度は5月の大会予選に通過し、2008全日本一輪車大会演技部門への出場が決定しました。写真のメンバーで、夏休みも特訓中です。

六小を中心

に、

一・二・小・

五・小・七小・

八小・七生

緑小の7校

で構成され

たメンバー

です。



六小の体育館で練習する児童

江戸時代後半の文政五年(一八二二)秋、中野村(八王子市)に住む八歳の勝五郎が、自分の前世は、程久保村(日野市)の藤蔵という六歳のときに痘瘡(天然痘)でなくなった子どもだと語り、ほどくぼ小僧と呼ばれて評判になりました。

文人大名池田冠山が、夭折した娘露姫の再生を願って勝五郎の話を聞きに來たり、国学者平田篤胤が、『勝五郎再生記聞』をまとめたり、多くの文人が勝五郎のことを書いています。

明治三〇年、小泉八雲が『仏の島の落穂』に「勝五郎の転生」を著し、海外に紹介しました。生まれ変わりの伝承は各地にあります。

ありますが、時代や場所が具体的に全ての実在が証明されるというものは、大変珍しいのです。特別展では、立体紙芝居やジ



藤蔵の父が建てた馬頭観音(程久保 写真右)

地域の協力をいただいて

夢が丘小学校では地域の農家小川光久様の協力をいただき、2年生の生活科で農業体験授業「さつまいも畑を見に行こう」を実施しました。

「さつまいもは横に伸びていくものだからすこし斜めにして植えるといいよ」とアドバイスをいただいたり、「こんなに苗



力強く根をはるさつまいも

小学校への寄贈のお礼と報告

は伸びるんだよ」と一本抜いて実物を見せてくださいました。地域の方の協力に感謝しています。

(学校課)

平山小学校に後藤博代様(平山在住)より日本画(左の写真)を寄贈していただきました。絵のモデルは、かつて多摩動物園にいたという愛嬌のあるサイです。

平山小学校のメディアセンター

入り口に展示しています。

ありがとうございます。

とうござ

いました。

(庶務課)

特別展

「ほどくぼ小僧・勝五郎生まれ変わり物語」

会期：9月27日(土)～12月14日(日)
会場：新選組のふるさと歴史館(日野市神明4-16-1)
開館：午前9時30分から午後5時。
月曜休館(祝日の場合は翌日)
※観覧無料。子ども向けリーフレットあり
お問い合わせ 郷土資料館(☎592-0981)

10月13日「体育の日」は
第18回スポレクへ行って遊ぼう！

毎年体育の日に開催している日野市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルでは、体を動かす楽しさを感じていただけるイベントを数多く用意しています。ご家族、お友達と一緒にご参加ください。

当日は、シドニーオリンピックに走り幅跳びで出場した渡辺大輔氏による、走り方や幅跳びの教室なども行う予定です。
▽日時 平成20年10月13日(祝) 午前9時30分～

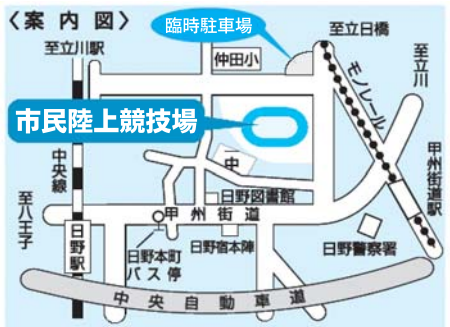
(郷土資料館)

※雨天決行
▽場所 市民の森陸上競技場(案内図参照) ※雨天の場合は一部プログラムを変更し仲田小学校体育館で実施

▽プログラム(☆は整理券配布)
・体験グラウンドゴルフ
・スマイルボウリング
・新体力テストと健康相談



昨年の綱引き競技



各種目の実施時間等につきましては、9月15日号広報、10月上旬配布のチラシでご確認ください。

平山台健康・市民支援センターでクラブを設立中です

平山台小学校跡地の一部を利用し、市民の健康づくりや仲間づくりのためのクラブを設立中です。子ども達の体力低下が問題となっている中、親子も参加できる体験教室なども企画中です。教室の募集等は随時広報ひのでお知らせしていきますので、お気軽にご参加ください。

▽問合せ先(文化スポーツ課)